

2018年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
学校教育学科	特任教授	青木宏希	教室の活用方法に特色のある図画工作科目で教室空間の有効な活用についての研究
	教授	市原 学	自己制御における無意識的な自動過程と意識的な統制過程の相互作用についての検討
	教授	内山美恵子	・「十日市場・夏狩湧水群」の湧水の経年変化の測定 ・桂川周辺全体の水環境を解明する目的で周辺山地からの湧水を水源とする河川調査の実施
	教授	加藤 優	・運動技能向上のための効果的な指導法の研究 ・バスケットボールのゲームの流れが勝敗に及ぼす影響に関する研究
	教授	別宮有紀子	富士山5合目におけるホシガラスの貯食行動がゴヨウマツの更新動態に与える影響
	特任教授	齋藤淑子	慢性疾患を抱える子ども理解と病弱教育・病院内教育実践のあり方について
	教授	佐藤 隆	教育実践の基本構造の研究
	教授	清水雅彦	日本語を美しくメロディーに載せる歌唱法(リサイタル開催)
	教授	添田慶子	正確に動きを習得する際に重要なことはどんなことか リズムに合った、リズムカルな動きを習得するための指導法について
	教授	竹下勝雄	美術-絵画表現(ドローインク・ワーク)の制作と研究
	教授	滝井 章	主体的、対話的、深い学びのある授業
	教授	田中昌弥	日本の教育学におけるナラティブ・アプローチの応用可能性についての研究
	教授	筒井潤子	乳幼児期・家庭還元論を超えた臨床教育学的乳幼児研究の共同構築に向けて

2018年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
学校教育学科	教授	寺川宏之	代数幾何における導来圏の研究
	教授	鳥原正敏	美術教育の可能性について -表現活動と鑑賞活動を通して-
	特任教授	中井 均	富士火山を中心とした、南関東の火山噴出物の標準試料の整理とデータベース化-その10-
	教授	中川佳子	発達障害者におけるバランス能力の検討:三軸加速度センサによって
	特任教授	原 まゆみ	知的・発達障害者の青年期教育の実状と課題について -困難を抱えた青年の「学校から社会への移行」に求められるもの-(継続2年目)
	教授	廣田 健	①開かれた学校づくり(学校づくり、地域づくり、教員養成のリンク) ②アイヌ文化を取り入れた系統的カリキュラムと地域教材の開発
	教授	藤本 恵	<文学>としての童謡-雑誌『赤い鳥』と自己表現を目指す詩人たち-
	教授	水口 潔	・スノースポーツにおける新たな指導方法の開発について ・身体感覚を高める運動指導の実践と強化(バレーボールを通して)
	特任教授	柳 宏	大学運動部のマネジメント研究～都留文科大学女子バレーボール部の競技力向上とキャプテンの役割～
	特任教授	山田暢司	新学習指導要領を踏まえた中学校理科教材の開発及びデータベース作成に関する開発
	准教授	新井 仁	数学的リテラシーの育成を図る教材開発と指導
	准教授	岡野恵司	岩澤理論の発展-多重 Z_p -拡大の不分岐岩澤加群に関する研究-
准教授	春日由香	児童詩創作指導の研究	

2018年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
学校教育学科	准教授	瓦林亜希子	幼少教育現場におけるアクティブ・ラーニングの源流と可能性に関する研究
	准教授	上原明子	①英語指導における授業研究(Lesson Study)の在り方に関する質的研究 ②音韻認識及びフォニックス(つづりと音の関係)の指導法についての研究
	特任准教授	草津祐介	日中比較による書字教育教材に関する研究
	准教授	十川菜穂	2台ピアノ音楽
	准教授	平和香子	①大学生の被服製作に関する基礎技能の実態②被服構成における縮尺モデル製作の取組③魚食文化の継承・創造に向けた授業デザインを考える④教員養成系大学生における、食物アレルギー及びアナフィラキシーショック、エピペンの使い方の知識調査⑤学校制服に求められる価値の変遷と現在のニーズについて⑥アイヌの衣服に見る藍染め
	特任准教授	谷合弘行	分位数回帰モデルの統計的有効推測とその応用に係る研究
	准教授	平野耕一	小さなスカラー・テンソル比を预言する宇宙初期のインフレーションモデルの研究
	准教授	武蔵由佳	教員養成大学における学生の不適応予防のための実践と効果に関する研究
	特任准教授	山中聡恵	・ハイパー群のフーリエ解析の研究 ・中学数学に関する研究
	准教授	山森美穂	・小学校授業におけるデジタル立体地球儀の活用の為の教材開発と試行 ・PANSYレーダーおよびラジオゾンデのデータを用いた南極沿岸域対流圏下圏の水蒸気動態の研究
	特任准教授	吉岡 卓	時制論理と時相論理を組み合わせたモデル構築と推論システムの作成
		講師	堤 英俊
初等教育学科	教授	春日作太郎	幼少期養育者環境不全を背景とした青年および成人の対人関係や子育ての障害の変容に及ぼす、表現技法を交えた小集団抛偶の効果について

2018年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
国文学科	教授	加藤敦子	江戸時代の演劇と社会・文化
	教授	加藤浩司	古代日本語の文法、語彙、文体を対象とした研究、および国語資料研究
	教授	佐藤明浩	院政期和歌文学の研究-『基俊集』『久安百首』を中心に-
	教授	鈴木武晴	日本上代文学とその享受史の研究 ①万葉集を中心とする日本上代文学の研究 ②日本上代文学の享受史の研究
	教授	寺門日出男	懐徳堂学派の研究
	教授	長瀬由美	『源氏物語』と平安朝漢詩文学の研究
	教授	野口哲也	日本近代文学の領域横断的研究
	教授	野中 潤	国語科教育における新しい教材開発の可能性について
	教授	古川裕佳	明治・大正期の長距離移動をめぐる小説と旅行記についての研究
	准教授	菊池有希	1.バイロン受容の日英比較の比較文学的・思想史的研究 2.「比較日本文化学」構築のための予備的・基礎的研究
	特任准教授	小石川正文	①国語教育における、学生の指導に資する、教科国語の教材の発掘、並びに指導法の開発 ②全国の教員採用の現状の分析、並びに問題分析、卒業生の為の市場開拓 ③都留文科大学国語国文学会の活性化に資する全国ネットワークの構築
講師	田口麻奈	鮎川信夫と戦後詩をめぐる思想的潮流とその具体相の研究	
英文学科	特任教授	大平栄子	世界文学研究の視点からみるアジア英語文学研究

2018年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
英文学科	教授	OLAGBOYEGA, Kowawole Waziri	“Japanese English”:A Descriptive Grammar of the Educated Written English in Japan
	教授	儀部直樹	①アメリカ作家シャーウッド・アンダーソンの短編小説研究 ②ジャズ音楽研究
	教授	Hamish Gillies	豪州の言語文化における問題や傾向について
	教授	竹島達也	21世紀の現代アメリカ演劇の特質について
	教授	中地 幸	ジャポニスム研究とヨネ・ノグチ研究
	教授	Hywel Evans	①潜在意識の中に存在する文法知識とはどんなものか ②言語学習をどこまで適切なツールを使って促進することができるのか
	特任教授	萩原一郎	第二言語習得にもとづく英語授業のつくりかた
	教授	福島佐江子	ポライトネス研究:メタ語用論および対人語用論からの考察
	教授	三浦幸子	教室内言語習得研究および教師教育(Classroom research and teacher education)
	教授	鷲 直仁	英語圏の異文化研究
地域社会学科	准教授	加藤めぐみ	①カズオ・イングロ研究 ②ヴァージニア・ウルフ研究 ③日本の英文学研究史 ④世界文学と映画
	教授	春日尚雄	①ASEANにおける電機電子産業:変化する市場とアジア新興企業の伸張 ②メコン地域における越境フラグメンテーション:タイ・プラスワンの適合条件
	教授	神長 唯	①レジ袋有料化政策の社会学研究:岐路に立つ地域協定方式の行方をさぐる②「四日市公害と環境未来館」との協定書を踏まえた環境教育・環境保全活動を推進するための調査研究

2018年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
地域社会学科	教授	鈴木哲雄	中世東国文化論からの香取本「大江山絵詞(酒呑童子絵巻)」に関する総合的研究
	教授	高田 研	①日本の公害教育に関する研究 ②幼児期の環境教育の研究 ③持続可能な地域づくりの事例研究
	教授	高橋 洋	普及段階に入った再生可能エネルギー政策の研究～国のエネルギー基本計画と自治体のエネルギー政策に注目して
	教授	田中里美	①地域社会学、地域福祉学分野の研究の推進 ②海外の地方/地域の現状の把握
	教授	西尾 理	①加害からの平和教育(2) ②新科目「公共」に向けて ③評価研究 ④社会創造基礎 I
	教授	樋口雄人	現代議会政治の現状と課題に関する日仏比較-下院解散制度を中心に-
	准教授	鈴木健大	①人口減少・少子高齢化が進行する地方都市における地域活性化プラットフォームの創出と考察 ②東北被災地における子どもたちの学習環境づくりの支援を通じた、被災地における子どもたちの支援のあり方の考察 ③ボランティアツーリズムの効果と検証
	准教授	両角政彦	地域経済における第一次産業の存立構造に関する研究
	講師	小島 恵	予防的な環境法政策のあり方
	講師	玉置敦彦	アメリカの戦略構想とアジア太平洋地域秩序の展開、日本の秩序構想とその意義
	講師	富永貴公	社会教育・生涯学習行政におけるパートナーシップの意義と課題
社会学科	教授	黒崎 剛	ヘーゲルの著書・思想に関する研究
	教授	進藤 兵	①日本の地方政治(東京都政その他)及び国政に関する研究 ②英国、スペイン、ドイツを中心とする欧州政治の研究

2018年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
社会学科	准教授	菊池信輝	①現代日本財界のアジア戦略分析 ②日本的労使関係と新自由主義
比較文化学科	教授	伊香俊哉	植民地支配・戦争における被害と加害の重層的関係性の検討
	教授	大辻千恵子	①アメリカ合衆国における大量拘禁制度が生み出す諸相 ②ブラック・フェミニズムの諸相 ③大量拘禁社会とブラック・カルチャー
	教授	邊 英浩	朝鮮、韓国思想の研究
	教授	分田順子	分断社会/多文化社会で活動する市民社会組織(CSO)の国際比較研究-紛争後の社会再建/共生を目指すコミュニティ・ドラマ・グループを中心に
	教授	山本芳美	①沖縄県石垣市明石集落での聞き書き ②トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築-多文化をつなぐ顔と身体表現
	准教授	内山史子	1930年代フィリピン・コモンウェルスの教育政策における『伝統』と『歴史』の語り
	准教授	岸 清香	「アジア美術」という芸術生産-1990年代以降の想像力と文化的紐帯の構築
	准教授	齊藤みどり	カリブ文学におけるエコフェミニズムの可能性
	准教授	佐藤 裕	インドの貧困と社会的機会に関する開発社会学的研究
	准教授	志村三代子	①出版計画:『川島雄三は二度生まれる』、『冷戦時代の「日米合作映画」』 ②研究発表:『『グラマ島の誘惑』のなかの沖縄』
国際教育学科	教授	原 和久	国際バカロレア初等教育プログラム(PYP)の研究
	教授	茂木秀昭	①議論を通じた探求型の教育を、学校教育から大学までの各段階で、どのように導入、活用することで、学習上の連携がより良くでき、学習効果もより上がるか ②クリティカル・シンキングを、ディベートの手法等を用いてどのように効果的に養成できるか

2018年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
国際教育学科	講師	木下 慎	日本と西洋の近代教育思想の比較研究:個人主義と集団主義に注目して
	講師	Nordstrom Karl Johan	①戦前の東京を拠点とした「映画製作所P・C・L」の発展について ②スウェーデン映画の新黄金時代の発展について
	講師	山辺恵理子	自らが育った国や地域とは異なる場所で教育に携わる者が抱える「哲学的葛藤(Philosophical Dilemma)」に関する研究
地域交流研究センター	教授	北垣憲仁	①都留文科大学周辺の哺乳類相 ②身近な野生動物の教材化
COC推進機構	准教授	山口博史	地域特性に着目した内外諸地域の比較研究
情報センター	准教授	相澤 崇	①小中学校学習指導要領及び検定済み教科用図書の記載内容から抽出される情報教育に関する特徴分析 ②教育系大学における共通科目情報のカリキュラム調査 ③初等教育におけるプログラミング教育の実態
	准教授	日向良和	①図書館でのさまざまなメディア、デジタル化などの検討 ②学校図書館の学校における役割と要素 ③図書館における各種「ゲーム」の可能性
	特任准教授	小河智佳子	①本学情報センター提供科目(共通専門科目(情報))の改訂に伴う教育内容の調査・研究 ②中学校技術科の情報教育に関する学習活動の特徴分析 ③佐賀県武雄市のデジタル教科書実証研究
語学教育センター	特任教授	桑原奈智子	現在の中国語および中国語教育に関する研究動向について
	特任教授	高橋雅子	①日本語非母語話者教師の認知の変容 ②海外の日本語教育における教師間の協働 ③日本語学習者の作文に対する自己評価
	准教授	豊嶋朗子	CEFRに基づくCan-Do descriptor作成とその試行的実践
	特任准教授	宮城春美	ペルー社会における日本文化の影響
	講師	Delgrego Nicholas Dirk	The Development and Implementation of Writing Centers and Peer Learning in Japanese Universities

2018年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
国際交流センター	特任准教授	周 非	①村上春樹「アイロンのある風景」論 ②川端康成「雪国」論 ③志賀直哉「焚火」論
教職支援センター	特任教授	泉 宜宏	・生活綴方実践や生活教育のなかで、教師はどのように子ども理解を深めていくか ・生活科・総合学習と子どもの手の働きや認識の発展を考える
	特任教授	亀田孝夫	学生の道徳授業の悩みと道徳教育についての研究～SAT及び教育実習の視点から～
	特任教授	宮下 聡	思春期と向き合う指導、子どもの権利としての教育・指導のあり方についての研究
	特任講師	小俣一夫	学校参加Ⅰ・Ⅱ及び教職実践演習を通して教師力形成過程とその学びの意義について～SAT活動及び教師力養成講座の経験を通して～
文学部	教授	早野慎吾	①首都圏方言の消失と方言意識に関する研究 ②オタク文化の表現論